

6 その他

6-1 鹿児島県工業技術センター研究開発推進会議

技術革新の急速な進展に対応し、中小企業の技術向上方策に資するため、工業技術センターの研究開発の推進をはかり、産業界及び学会の密接な連携のもとに、鹿児島県工業技術センター研究開発推進会議を設けている。委員は以下のとおりである。

区分	氏名	所属・役職名
産業部門	濱田光彦	鹿児島県工業技術振興会会長
	坂元昭夫	鹿児島県異業種交流協会食品関連部会副会長
	永田実秋	鹿児島県産業廃水処理施設工業会会長
	相良正典	鹿児島県メカトロニクス研究会会長
	永谷仲次	登録企業下請取引紛争処理委員会委員
	西園靖彦	鹿児島県フローリング工業協同組合
学術部門	蟹江松雄	鹿児島大学名誉教授 [(財)鹿児島県産業技術振興協会研究開発審査委員長]
	立川正夫	鹿児島大学工学部教授
	永浜伴紀	鹿児島大学農学部教授
	永松実夫	鹿児島大学教育学部教授
	久米国幹	鹿児島大学工学部教授
	松下為隆	元鹿児島大学教育学部部長
	野添俊雄	第一工業大学工学部部長
行政部門	橋本幸雄	鹿児島県商工労働部部長
	大久保博志	鹿児島県企画部新技術情報課長
	迫一徳	鹿児島県商工労働部工業振興課長
	北田定雄	(財)鹿児島県産業技術振興協会事務局長

6-2 研究交流推進事業

先端技術等の積極的取り組みや研究開発能力の強化を図るため、高度な知識技能を有する研究者を招へい、または先進研究所へ研究員を派遣して研究機能の充実を図ることを目的とする。

種別	研究者氏名	招へい研究者の所属、派遣先	研究テーマ	期間	担当部室
招へい	陣内和彦	九州工業技術試験所 資源開発部長	微粉碎シラスを利用した新素材の開発研究（シラス利用技術の現状と問題点の討議）	5.23～25	窯業部
	立山博	九州工業技術試験所 資源開発部 主任研究官	微粉碎シラスを利用した新素材の開発研究（シラス炭化物の開発研究の現状と指導）	8.20～23	〃
	生谷吉男	全国染色協同組合連合会常務理事	絹新素材開発とその染色加工技術の研究	8.31～9.4 1.21～25	化学部
	外園勉	ホカゾノクリエイティブ代表	CGによるグラフィックの研究	11.5～7 3.18～20	デザイン開発室
	木村邦夫	九州工業技術試験所 資源開発部 主任研究官	微粉碎シラスを利用した新素材の開発研究（微粉碎シラスの粘土化技術とその応用）	11.13～16	窯業部
	神尾典	九州工業技術試験所 資源開発部 主任研究官	微粉碎シラスを利用した新素材の開発研究（微粉碎シラスを用いた高強度コンクリートの開発）	2.27～3.2	〃
派遣	善本知孝	東京大学名誉教授	木材抽出成分の新しい用途の開発に関する研究	3.3～6	木材工業部
	中村俊一	九州塗料工業㈱	塗料用樹脂の合成とその分析	5.14～27	木材工業部
	瀬戸口真治	宮崎大学農学部農業化学科 応用微生物学教室	細胞融合法による新焼酎麹菌の開発に関する研究	7.1～8.7	食品工業部
	市来浩一	工業技術院機械技術研究所 生産システム部	CAD/CAM技術の研究	7.2～19	機械金属部
	尾前宏	長野県精密工業試験場	放射性電磁ノイズの簡易測定法に関する研究	11.4～28	電子部

6-3 職員派遣研修

職員名	研修先	研修名	期間
西元研了 (化学部)	中小企業大学校 工業技術院繊維高分子材料研究所	中小企業技術指導員養成課程 (新材料) 6ヶ月コース	5.16～11.16
浜石和人 (機械金属部)	大阪大学溶接工学研究所	高機能皮膜の作成とその物性に関する研究	7.16～8.4
久保敦 (電子部)	中小企業大学校	中小企業技術指導員養成課程 (情報ネットワーク技術) 1ヶ月コース	2.5～3.5

6-4 一日工業技術センター開催事業

県内の離島及び遠隔地域の中小的製造業者は、公設試験研究機関との接触が少なく、本土中心地域に比較し技術水準は低い。また、最近の工業技術の急速な進展の中で、地域の業界においてもこれに十分対応できる技術力が求められている。

本事業は、これらの地域を対象に技術指導・相談会を開催し、当該地域の工業技術の向上を図ることを目的とする。

地 域	開 催 日	参加企業名・指導企業名	指 導 内 容
種子島 (1市2町)	平成2年 7月25日 ～ 27日	参加企業数 21社 指導企業名 9社 田畑製作所 牧瀬種子鉄製作所 池浪本種子鉄製作所 池浪刃物製作所 種子島陶芸 有島木工所 日昇製糖 鮫島宗弘(南種子町役場) みつわ蒲鉾店	開所式 講演：県の商工施策 熊毛支庁長 古市 吉男 講演：地域における工業振興 工技センター所長 今川 耕治 工業技術センターの業務紹介と利用法 企画情報室 業界の主な指導内容 (機械金属加工・窯業・木材加工関連) ・熱処理・脱炭防止・2段焼入れ等の技術 ・焼入れ炉・焼戻し炉の温度計の精度検査 ・鉄・包丁等の利器類の製造技術・デザイン ・粘土の調製法 ・窯焚きの改善 ・家具塗装 (食品加工関連) ・黒糖製品の製造容器(流し型) ・商品ラベルのデザイン ・食品の水分測定・ろ過装置
奄美本島 (1市3町 3村)	平成2年 12月4日 ～ 7日	参加企業数 28社 指導企業名 27社 泊 鉄工所 (有)双葉鉄工所 (有)藤工業 (有)田中工務店 福山工業 (有)石原酒造 大島食糧(株) 奄美大島酒造(株) (合)弥生焼酎製造所 (有)奄美ハブ酒本舗 (有)山田酒造 (株)島育ち会館 栄食品工業(株) 名瀬市農協 奄美産業(株) (株)浜久 報徳商会 野茶坊焼 舟艇工房 夢丸 大島チップセンター(株) 岩崎産業(株) 師玉富章(住用村) 田中製材所 木研社 かがわ (有)藤木工所 恵 建具店 久保製材所	開所式 講演：地域における工業振興 工技センター副所長 大迫 陽一 講演：国・県の中小企業への金融制度 大島支庁商工水産課長 横山 奉昭 工業技術センターの業務紹介と利用法 企画情報室 業界の主な指導内容 (機械金属加工関連) ・新技術導入のための加工技術 ・鉄鋼材料の保管(塩害対策等) ・工程のレイアウト ・溶接材料管理 (食品加工関連) ・産地別・等級別の黒糖の性状 ・新製品の開発(新製品の設計) ・原酒の処理技術(油分の除去・イソ交換処理法・明成分等) ・リキュール酒の調製 ・ゼリー・ジャム等の殺菌 ・果汁の効率的な搾汁法 ・浅漬の製造法 ・味噌の変色 (窯業・木材加工関連) ・粘土の加工適正 ・木箱 ・奄美産材の特性 ・用材の防カビ対策 ・木材加工のデザイン ・木材の乾燥 ・奄美産材の高付加価値製品の開発

6-5 視察・見学者（主なもの）

月 日	企業・団体名等	人 数	月 日	企業・団体名等	人 数
4. 5	国土庁 地方都市整備課	4	9. 27	ユネスコ協会	12
4. 10	国分青年会議所	30	9. 28	西紫原中学校PTA	100
4. 19	首於郡松山町	100	10. 4	大分県地域技術振興財団	25
4. 20	総合政策研究会	20	10. 11	佐賀県商工政策課	12
4. 25	鹿児島市鴨池公民館	27	10. 17	林材協会「モクモクスクール」	30
5. 2	隼人工業高校	160	10. 25	県高等学校教育研究会	40
5. 8	和歌山県財政課長他	4	10. 31	韓国MBC鹿児島MBC	8
5. 15	文教商工労働委員会	25	11. 14	中国（長沙市）	7
5. 17	岩手県工業課，新潟県財政課	3	11. 21	鹿児島高専情報工学科3年	43
6. 4	沖縄県知事	8	11. 26	EC協力センター	7
6. 20	付届中PTA	80	12. 7	江蘇省科学協会	5
6. 27	熊本県工業技術センター	2	12. 19	沖永良部高校	85
7. 2	大根占町振興会	100	1. 24	沖縄県読谷村物産開発グループ	10
7. 7	国土庁地方振興局	3	1. 25	吹上町学校保険会	30
7. 10	鹿大化学工学科3年学生	50	2. 8	九州地区公立学校建築技術協議会	49
7. 13	県総合教育センター	30	2. 21	赤塚学園ビジネス専門学校	16
7. 19	国土庁長官，官房長	4	2. 22	えびの市教育委員会	25
7. 26	税務課関係研修会	20	3. 4	大川木工機研研究会	23
7. 31	鳥取県工業試験場次長	15	3. 12	熊本県商工会連合会	13
8. 2	新技術情報課	2	3. 14	城山北部婦人会	12
8. 9	公立学校共済組合鹿児島支部	120	3. 18	西日本新聞レディス見学	40
8. 10	日吉町教頭会	8			
8. 22	熊本県商工労働部長	2			
8. 24	沖縄県工芸試験場	1			
8. 28	国分職業連絡会	20			
9. 6	加治木農業指導者連絡会	100			
9. 14	電力移出県等交付金担当会議	40			
9. 19	福岡県工業技術センター	3			
				県 内	県 外
				国 外	計
			件 数	128	75
			人 数	3,859	705
				8	64
					211
					4,628